

第18回 全国高等専門学校プログラミングコンテスト 自由部門作品

# THE PRESENMASTER

プレゼンマスター



作品番号:20030

# 従来のプレゼンテーションの常識を超える

あらゆる企画がプレゼンで発表されるこの平成の時代……人々はプレゼンテーションに飢えていた

研究結果の発表や学習の一環など、毎日のようにプレゼンテーションが行われています。

しかし、現在のプレゼンテーションは、それを行う機会、会場の確保、収容人数の限界などに束縛されていました。

オンラインプレゼンテーションサービスがネットワーク上でプレゼンテーションを行うことで上記の束縛からプレゼンテーションを開放しました。が、その反面、プレゼンテーションが持つ独特の雰囲気、観客同士の囁き合いやリアルタイムの観客の反応を失いました。

この「THE PRESENMASTER (プレゼンマスター)」は、二つの特性を合わせ、従来のプレゼンテーションを超えた新しいプレゼンテーションの方法として「**参加型オンラインプレゼンテーション**」公開システムを実現します。

# THE PRESENMASTER の SYSTEM

プレゼン

プレゼンターは新しい日常を体験する

THE PRESENMASTER は「参加型オンラインプレゼンテーション」のコンセプトを実現するためにプレゼンテーションの場を提供するシステムです。このシステムでユーザーは仮想空間を得ることができ、そこでプレゼンテーションを行ったり見たりすることができるようになります。



左図 プレゼンテーション中の様子

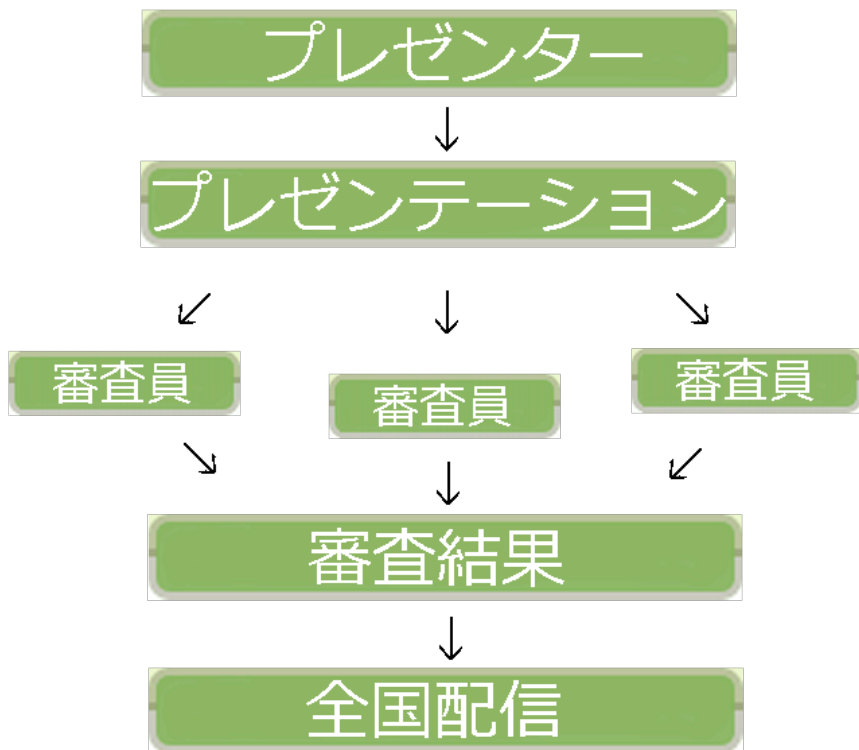
プレゼンテーションとプレゼンターの様子が配信されている。下部では審査員が話し合ったり野次を飛ばしたりしており、審査員の評価が右上に表示されている。審査員の話し合い（ヒソヒソ話）はプレゼンの妨げとなる恐れがあるためプレゼン中はプレゼンターが見ることはできない。

# THE PRESENMASTER の流れ

発表者の数だけドラマがある

プレゼンマスターはプレゼンテーションを行う場ですが、同時に見る場でもあります。

発表者は各会場でプレゼンテーションを行い、観客はそれを見に行きます。



プレゼンテーション中、観客の評価によってプレゼンテーションは良いものか判別され、良いものだと**全国放映機能により全国公開されます**。残念ながら悪いものと判断されたものは、公開はされません。これは良いプレゼンテーションを見てもらう為であり、プレゼンテーションが下手な人への嫌がらせでは**断じてありません**。

左図 プレゼンマスターの流れ。

全国配信されるか否かはプレゼンターの自身の腕にかかっています。

# 個性豊かなオリジナルプレゼンテーション

プレゼンターの手腕を発揮せよ

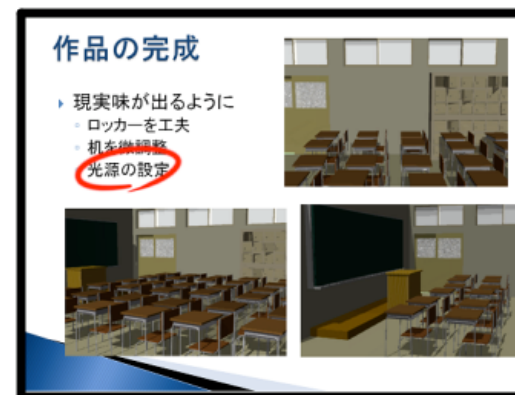
プレゼンマスターではわかりやすく、そして個性あふれたプレゼンテーションを行ってもらうためにwebカメラから動きをキャプチャーしストリーミング配信し、同時に声も配信し、あらかじめサーバーにアップロードしておいたスライドを使ってプレゼンテーションを行います。つまり上手いも下手も**プレゼンター次第**というわけなのです。

ですが何も心配いりません。

プレゼンターはサーバーに蓄えられた自分のプレゼンテーションを見直すことができ、それによりプレゼンテーション能力を上達させることができます。

プレゼンテーションが初めから上手な人は居ません。

**これから上手くなっていけばいいのです。**



プレゼンテーションの図

君はこの機能を使いこなすことができるのか！？

# THE PRESENMASTER の審査員

プレゼンテーション評価機能搭載

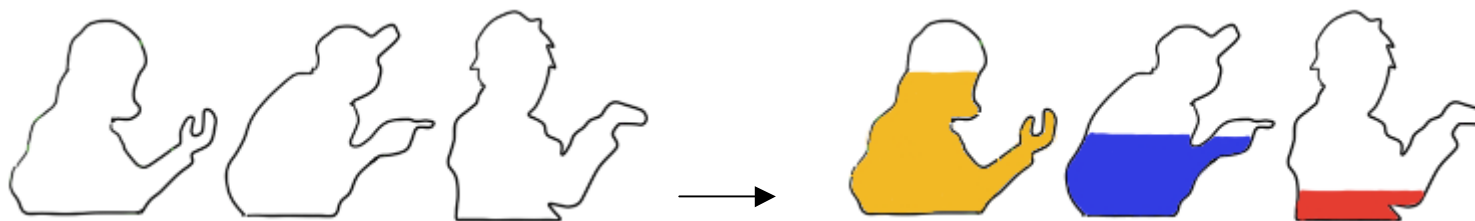
プレゼンテーションに参加した人はただの観客ではありません。

審査員となって実際にプレゼンテーションをリアルタイムで評価するのです。

参加者全員が意見を出す、これこそ参加型オンラインプレゼンテーション公開システムと言えるでしょう。

しかし、それだけではプレゼンターと審査員間でのやりとりしかできません。プレゼンマスターでは審査員同士のヒソヒソ話も可能なのです。これにより現実のように場の雰囲気を一層高めることができます。

そして、オンラインの特徴を活かしていつでも質問やコメントをプレゼンターへ送ることができます。質問はリアルタイムでメッセージウインドウに表示されますが、コメントは原則プレゼン後に表示されます。



審査員の図 評価付けするとつけた評価の度合いに応じて自分の評価メーターが上がりそれに応じた色に変わる。

審査状況の図 全体の審査状況は右図の円形のグラフで表示される。  
Vi.は Vision(映像)、Vo.は Voice(声)、Da.は Data (資料) を示している。



# 全国放映機能搭載

キミが発表したプレゼンでトップを目指せ！

昔の人は言いました——「人の振り見て我が振りなおせ」と。他人のプレゼンテーションを見て学ぶことは多いです。審査員の評価が高かったプレゼンテーションはログが保存され、**全国に**プレゼンテーションの様子が**配信されます**。いわば未来のプレゼンターや見習いプレゼンターへの参考資料です。

参考にできることはどんどん参考にしましょう。そして向上心を持ちつづけることが大切です。

プレゼンテーション会場選択画面では審査状況が円グラフではなく星の数で表示されます。

円グラフではわずかな評価の差が表現されますが星の数に置き換える事によって一目でわかるようになっています。



## 会場選択画面

表示されている☆は現在会場にいる審査員の評価を表したもの。色は評価内容を表しており、黄色は Vision(映像)、赤色は Voice(声)、青色は Data (資料) である。

# THE PRESENMASTER を支える機能

ほかにも機能が充実

## 限った人のみへの公開も可能

プレゼンテーション会場の設定で仲間内へのみのプレゼンテーションも可能です。

この設定が行われている会場には鍵のアイコンが付いており一目でわかるようになります。



## プレゼンテーション評価

プレゼンテーション終了時に評価に応じてメッセージが表示されます。

星の数に応じて決まるので一概ではありませんが、

プレゼンターにとってはプレゼンテーションの出来の目安となります。

グッドプレゼンテーションだと全国配信されます。

グッドプレゼンテーション

ノーマルプレゼンテーション

バッドプレゼンテーション

## プレゼン資料の作り方

現段階ではプレゼン資料はjpgなどの画像ファイル読み込みですが、

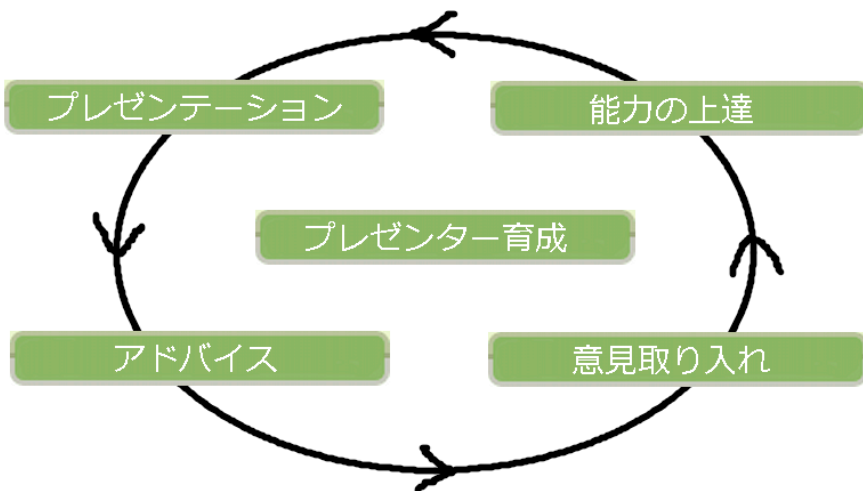
将来的にはpptファイルの読み込みができるようになることを想定しています。



# アドバイスで眠れる才能を引き出せ

彼らをトッププレゼンターにするのはキミしかない！

このシステムを使うことによりプレゼンテーションをする回数が増え、そして意見を取り入れ、再びプレゼンテーションを行うことでプレゼンテーション能力が上達して行きます。



逆に考えると、評価する側である審査員はネットワーク上でプレゼン初心者育てるということになります。

これは今までに無い試みではないのでしょうか。

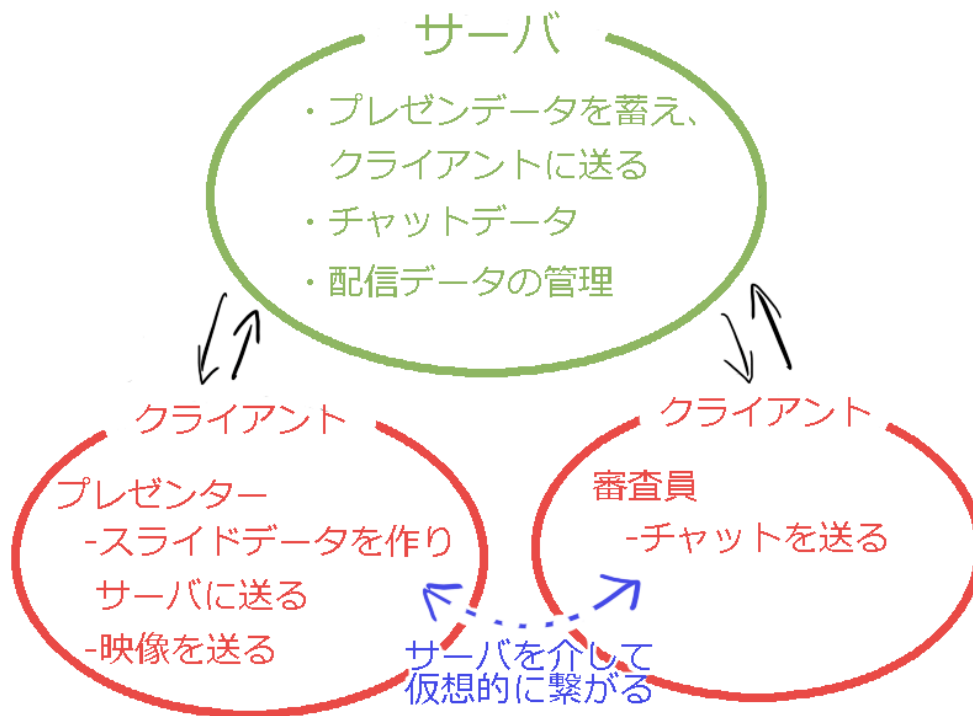
また、新しい形のコミュニケーション方法の一つとしてプレゼンテーションを利用することで、プレゼンテーションが今よりも身近なものになればと考えております。

# クライアント間通信概要

ついにベールを脱ぐ

本システムは web カメラから映像を取り込み、プレゼンテーション用の画像と同時に配信するというものです。

そしてその二つにチャットを同期させるというものなので実現は十分可能です。



# 実行・開発環境

## 動作環境

- ・クライアント

Adobe Apollo Runtime の導入された Windows 2000/XP または Mac OS X 10.4.9

- ・サーバ

MySQL 5.0、PHP 5.2.2、Apache 2.0.59 の動作するコンピュータ

1.5Mbps 以上のインターネット接続環境

## 開発環境

Windows 2000/XP

Apollo SDK、Flex2 SDK、Java 2 SDK Standard Edition

PHP 5.2.2、MySQL 5.0、Apache 2.0.59